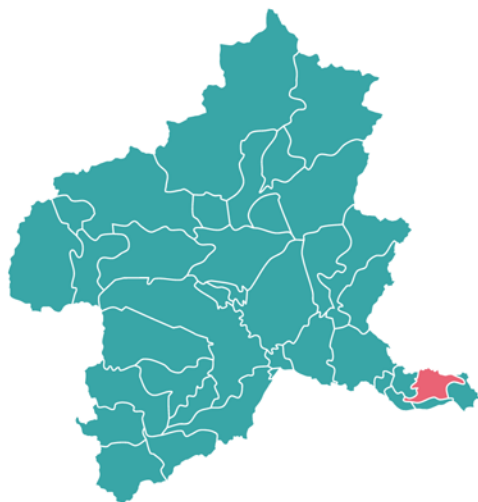


ともにつくろう、先端のまち「館林」。

企業立地のご案内

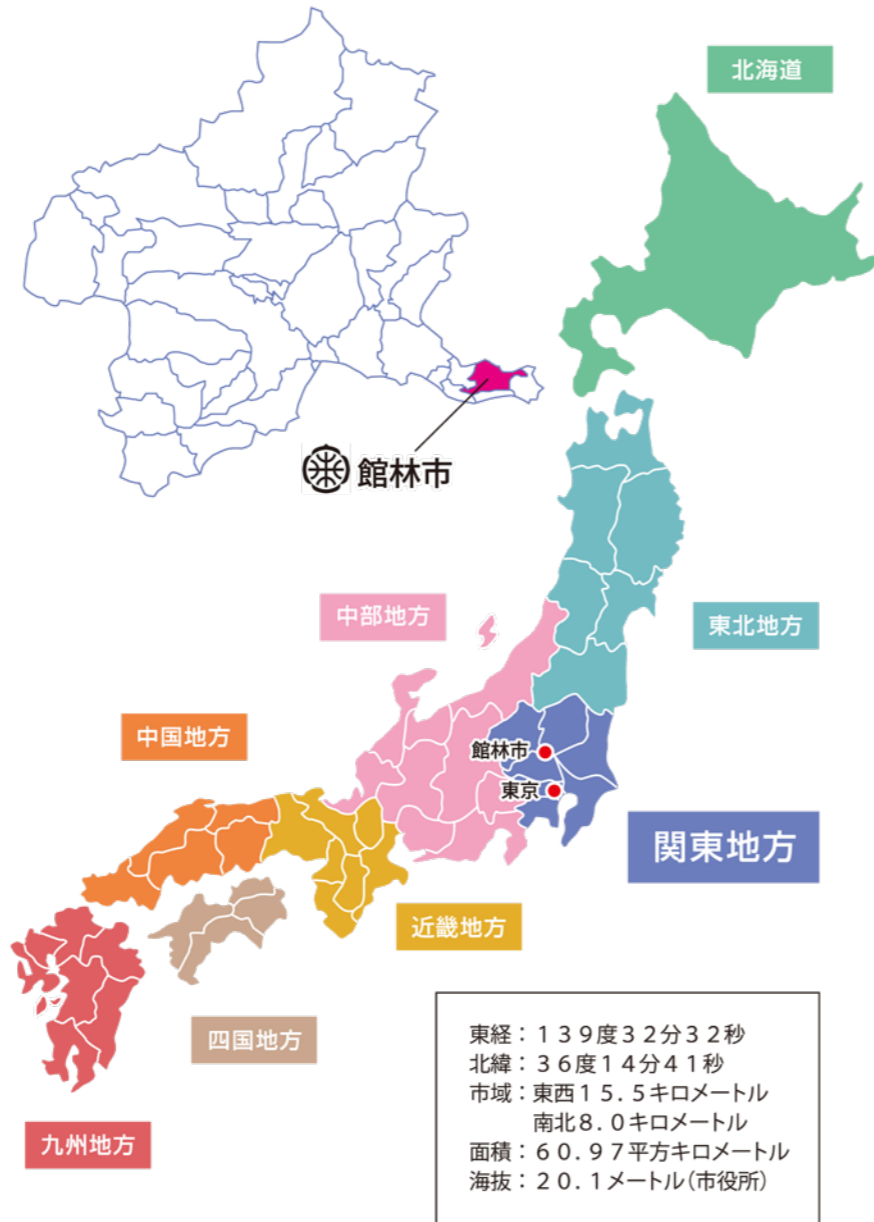


館林市

館林市の紹介

館林市は、「鶴舞う形」といわれる群馬県の東南部、ちょうど鶴の頭の部分にあたり、関東地方のほぼ中央に位置しています。北には渡良瀬川、隣接する邑楽郡明和町を隔てた南には利根川といった大きな河川が流れ、城沼、多々良沼、近藤沼や茂林寺沼など多くの池沼が点在するなど、豊かな水資源と自然環境に恵まれ、多様な動植物の生息地となっています。

城沼と多々良沼で越冬した白鳥たちが北の大陸を目指し始め、桜の花とこいのぼりの競演で春が幕を開けると、つつじ、花菖蒲、花ハスに彼岸花と、色鮮やかな花々が四季折々に館林を彩ります。



館林市の観光

つつじが岡公園を始め、館林市では多くの観光施設を抱えており、その一部を紹介します。ぜひ本市の魅力に触れてみてください。

つつじが岡公園

館林市が世界に誇る日本一のツツジの名園です。つつじが岡公園は500年以上前から「躑躅カ崎」という名称で古くからつつじが植生していた歴史があり、今では約100種類1万株のツツジが開花します。そして、その美しさから1934年には国の文化財「名勝」に指定されており、地元では、真っ赤につつじが開花する様子を「燃えているよう」と表現し、つつじが岡公園のことを「花山」と呼んでいます。中でも一番の見どころは推定樹齢800年、約4mの高さを誇るヤマツツジ群です。



つつじが岡公園

茂林寺

分福茶釜の茂林寺

童話「分福茶釜」の舞台です。茶釜に化けたたぬきが福を与えたとされる伝説があるお寺です。実際に茶釜を見ることができます。さらに、参道に並ぶ24体のたぬき像が季節によってお雛様や節句などの衣装に変わり、何度訪れても飽きない観光名所です。

館林市へのアクセス

館林市は、東京まで約70キロメートルと県内でも都心に最も近い位置にあります。市内には東北自動車道の館林I.Cがあり、自動車では都心まで約1時間という好立地です。東北自動車道により東京都や東北地方へのアクセスが向上し、更には圏央道が直結したことにより、都心を通ることなく東海・中部地方へのアクセスが可能です。また、北関東自動車道への接続もよく東西南北に充実した高速交通ネットワークにより、物流の拠点としても非常に好立地です。

一方鉄道の状況は、東武鉄道で都心まで約1時間でアクセスできることから、都心へ通勤するかたの通勤圏として十分な役割を果たし、交通利便性に優れた立地となっています。



車の場合

東北自動車道 浦和I.Cから約35分
最寄りI.C: 東北自動車道 館林I.C

電車の場合

東武伊勢崎線にて『浅草駅』から特急で約60分
最寄り駅: 東武伊勢崎線 館林駅

立地企業の声 (平成 29 年 10 月 1 日現在)



<https://www.tomoku.co.jp>

株式会社 トーモク 館林工場

「包む」をイノベーションする

どんな会社ですか？

トーモクは多様化するビジネスニーズに敏感に対応する総合包装メーカーとして、常に新しい価値を創造し、「包む」に関わる絶え間ないイノベーションを実現してきました。現在では、段ボール、紙器製品の供給を軸に、箱型のご提案からデリバリーまで含めたサービスのご提供によって、お客様の大切な商品の「品質」を包むだけでなく、消費者の皆様にとっての「価値」を包み、すべての人々の豊かな「暮らし」を包むなど、その技術や製品、サービスは飛躍的な広がりを見せています。

館林市に立地を決めた理由は何ですか？

グループ企業が先に進出しており、その企業へ供給拠点として立地を決めました。そして今後、北関東の段ボールの需要が飛躍的に伸びることを予測し、物流上での拠点としての優位性も考慮し進出を決めました。

館林のイメージはどうですか？

非常に地味であるとの印象ですが、伝統、文化を大事にしていると同時に、進取の気概に富んだ街とのイメージです。故に、優秀な人材が育つ街であると思います。

今後の展望について聞かせてください

トーモクは包装資材を出発点として、ビジネスと人々の暮らしを見つめ、サポートしてきました。新しい価値を創造する「包む」のイノベーションは、これからも続けて参ります。また、トーモクは人づくりに力を入れており、徹底した品質の追及において最新の生産機械や設備だけではなく、どこにも負けないオンラインの技と心を育て、これからも世界で活躍できる人材を育てて参ります。

本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-2 丸の内三井ビル
市内所在地	〒374-0047 群馬県館林市野辺町 906-1
代表者	代表取締役社長 斎藤英男
設立	1949年5月 (市内設立：1981年2月)
資本金	136億6987万円
従業員数	1,006名
業務内容	段ボールの製造及び販売
主力製品	段ボール、紙器、住宅事業、運輸業



<http://www.danone.co.jp>

ダノンジャパン 株式会社 館林工場

食を通じてより多くの人々に健康をお届けする

どんな会社ですか？

ダノンはフランスに本社を置き、世界 130 の拠点でビジネスを展開しているグローバルな食品企業です。1980 年に「味の素ダノン株式会社」として日本市場に初めて参入し、1992 年に「カルピス味の素ダノン株式会社」を設立しました。2007 年に 100%子会社としてダノン傘下に入り、社名を「ダノンジャパン株式会社」に改めました。チルド乳製品では「ダノンオikos」「ダノンデンシア」「ダノンピオ」「ダノンヨーグルト」「プチダノン」「ベビータノン」、ウォーターでは「エビアン」のようなヘルシーな飲食製品を提供しています。

館林市に立地を決めた理由は何ですか？

自然環境、特に水に恵まれており、ヨーグルトには欠かせない生乳の産地に隣接しており、物流に欠かせない交通網に恵まれているため。

館林のイメージはどうですか？

自然環境に恵まれ、生乳の産地にも近い、食品関係の工場が集約している。工場の生産に対する理解があり、非常にサポートが充実している。特に首都圏などにも近く、交通網にも恵まれている。

今後の展望について聞かせてください

より多くの人々に食を通じて健康をお届けするという企業理念に基づき、日本の消費者が必要とする栄養素や嗜好にあった製品を館林で開発、製造を続けていく。また、館林市がダノンジャパンの唯一の製造拠点であるため、館林市の地域、環境はとて重要なものだと考えている。館林市の多大なご協力により、物流センターを作るなどすることもできた。今後も地域環境の保全や工場の従業員の雇用など、地元との関係をより一層強くしていきたい。

本社所在地	〒153-0051 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー 13F
市内所在地	〒374-0071 群馬県館林市下早川田町 366-1
代表者	代表取締役社長 ルイス ファリア・エ・マイア (Luis Faria E. Maia)
設立	1992年 (市内設立：2003年4月)
資本金	3億円
従業員数	356人
業務内容	チルド乳製品の製造と販売、ウォーター(「エビアン」)のマーケティング
主力製品	ダノンピオ、ダノンオikos、ダノンヨーグルト、プチダノン、ベビータノン、ダノンデンシア、エビアン



<http://www.haseman.co.jp>

HASEMAN 株式会社 長谷川萬治商店 館林事業所

木に生きる歴史と伝統

どんな会社ですか？

長きに亘って培った木材のプロフェッショナルとして、良質な木材の安定調達、供給を行う「木材販売事業」、一貫した品質管理体制のもと高品質な加工品を提供する「木材加工事業」、当社グループ企業の(株)長谷川カスタムホームズ事業本部による 38 年の歴史と研鑽された技術力を持つ「建築施工事業」から成る、資材の調達から加工、そして建築施工までの一貫体制が生み出す「木材のバリューチェーン」により、良質な商品とサービスをお客様に提供しております。

館林市に立地を決めた理由は何ですか？

関東の中心に位置し、主要幹線道路へのアクセスが良く、物流面などで好立地であることや整備された工業団地内の敷地を当社主要取引先の住友林業株式会社から譲り受けるご縁があったため、加工拠点到選しました。

館林のイメージはどうですか？

豊かな水資源と自然環境に恵まれた街であるとともに工業団地も整備され、当社本店所在地から車で約 1 時間 15 分に位置しており、当社としても好立地な街です。

今後の展望について聞かせてください

住まいづくりの原点である木材・建材の流通の充実と新たな技術・サービスの開発、真の価値のある豊かな住空間の創造など、本質を見極め、時代のニーズに即応できる力を追求し、お客様により付加価値のある商品、サービスを提供していくことを目指してまいります。また、木の特性や癒しの効果をより多くの方々に知って頂けるよう、子供たちに向けて木工体験教室を開催する等、木育活動も推進してまいります。

本社所在地	〒135-8535 東京都江東区富岡 2-11-6
市内所在地	〒374-0001 群馬県館林市大島町東部工業団地 6007
代表者	代表取締役 執行役員社長 長谷川 健治
設立	1921年 (市内設立：2009年8月)
資本金	1億円
従業員数	(株)長谷川萬治商店 60名、長谷川グループ 200名 (内館林在任：100名)
業務内容	国産木材・輸入木材の販売、木造軸組工法のプレカット加工販売、ツーバイフォー工法のパネル加工販売、各種金物工法のプレカット加工販売



<http://www.dic-global.com>

D I C 株式会社 館林工場

あなたのココロをカラフルに

どんな会社ですか？

1908 年、印刷インキの製造と販売で創業した DIC(ディーアイシー、旧大日本インキ化学工業)は、その基礎素材である有機顔料、合成樹脂の事業を拡大するとともに、関連するコア技術を世界トップレベルに育て上げてきました。この技術を素材から加工に至る広範な製品群に活用し、自動車、家電、食品、住宅、その他生活関連分野に「彩り」と「快適」を提案することで、広く社会のニーズに応えてまいりました。

館林市に立地を決めた理由は何ですか？

館林は、創業者の生誕地であります。創業者川村喜十郎は、渡良瀬村字上早川田村(現館林市)野中家に生まれたため、その地元で工場を設立し、社会に貢献したいと考えました。

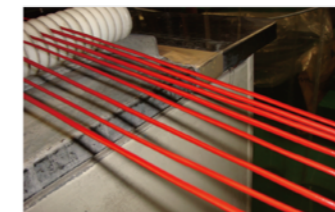
館林のイメージはどうですか？

つつじと分福茶釜で有名な群馬県館林市の東部に東北自動車道館林インターチェンジにほど近い、好立地の館林東部工業団地があります。今後さらに大きく発展する可能性を秘めた、将来性豊かな生産拠点です。

今後の展望について聞かせてください

D I C は、世界中のさまざまな地域で、高い専門性や個性を持つ人材が、多様性を尊重しながら協働し、より "Colorful" な価値の創出に取り組んでいきます。これからも、世界で 60 を超える国と地域に事業を展開しているグローバル企業として、地域環境の保護や、安全で安心して生活できる豊かな社会作りにより一層貢献できるよう努めてまいります。

本社所在地	〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20 ディーアイシービル
市内所在地	〒374-0001 群馬県館林市大島町東部工業団地 6023
代表者	代表取締役社長執行役員 中西 義之
設立	1937年3月15日 (市内設立：2001年)
資本金	966億円
従業員数	3,510名 (グループ全体：20,481名)
業務内容	印刷インキ、有機顔料、合成樹脂等の製造・販売
主力製品	フィルム用樹着剤、食品・医療用樹着剤、繊維機能材、着色剤、機能性光学材料





http://www.mizkan.co.jp



株式会社 Mizkan
館林工場

やがて、いのちが変わるもの。

どんな会社ですか？

ミツカングループは、1804年に酒粕を使ってお酢を造るという挑戦から始まり、変革と挑戦を続けてきました。そこには、「買身になってまごころこめてよい品を」、「脚下照顧に基づく現状否認の実行」という2つの原点がありました。この2つの原点のもと、私たちはこれからも挑戦を続けます。このことが、お客様をはじめとした様々なステークホルダーの皆様の価値あるパートナーであり続けることにつながると、確信しております。

館林市に立地を決めた理由は何ですか？

- ・北関東、東北（一部首都圏を含む）といった消費地へのアクセスに富み、消費者の方々により新鮮な商品の提供が可能になる。
- ・中部地方から輸送していた物流関連コストを削減できる。

館林のイメージはどうですか？

館林市は、食品会社には欠かせない、水が豊富な土地です。最近、圏央道などの高速道路が拡大されて、首都圏や東北エリアへのアクセスも、更に良くなりました。また、ほとんど渋滞が無いため、車での通勤も時間通りです。埼玉県・栃木県・茨城県に隣接しているので、遊びに行くのも便利です。

今後の展望について聞かせてください

納豆においては、引き続き東日本全域をカバーする重要な拠点の位置づけになります。調味料においては、レトルト製品、具材入りの製品等、他拠点では作れない高付加価値製品の拠点として、今後、益々重要な位置づけになっていきます。

本社所在地	〒470-8585 愛知県半田市中村町 2-6
市内所在地	〒374-0001 群馬県館林市大島町字東部工業団地 6031
代表者	代表取締役社長 兼 CEO 吉永 智征
設立	創業 1804年 登記上設立 1990年 (市内設立: 調味料工場 1994年 / 納豆工場 2002年)
資本金	3億 3,000万円
従業員数	1,348名 / 2017年3月1日、パート社員含む (館林工場のみ的人数: 505名)
業務内容	日本+アジアにおける家庭用/業務用調味料、加工食品、納豆の企画開発・製造・販売
主力製品	調味料工場: 家庭用レトルト製品 (五目ちらしなど)、鍋つゆ、業務用たれ、納豆工場: 金のつぶにおわなっとう、くめ納豆。



http://www.unican.co.jp



ユニバーサル製缶株式会社
館林工場

Can For You!

どんな会社ですか？

ユニバーサル製缶は、三菱マテリアルと北海製罐 (現ホッカンホールディングス) の飲料用アルミ缶事業統合によって 2005年10月にスタートしました。当社は、三菱マテリアルグループにおけるアルミの圧延からアルミ缶製造、リサイクルまでの生産体制を背景としたアルミ缶の製造における強みと、ホッカンホールディングスの飲料から食品分野における容器製造から内容物充填までの幅広い事業展開を背景とした優れた営業体制が融合した飲料用アルミ缶メーカーです。



館林のイメージはどうですか？

当社は、食の安全・安心を保证するアルミ缶をお客様に提供しています。館林市は南北に渡良瀬川、利根川の2大河川に囲まれ、又関東や東北・北陸の交通の要所としてアルミ缶の製造・販売に適した場所と考えています。

今後の展望について聞かせてください

当社は、業界トップの品質、コスト競争力を実現し、価値ある技術、製品、サービスを提供し続けることにより、お客様から信頼されるパートナーになることを目指し、アルミ缶を更に提供し続けていきます。

本社所在地	〒112-8525 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル
市内所在地	〒374-0047 群馬県館林市野辺町 906-2
代表者	取締役社長 内藤 英一
設立	2005年10月1日 (市内設立: 1979年6月)
資本金	80億円
従業員数	約1,200名 / 2017年8月末、パート社員含む (館林工場: 136名)
業務内容	アルミ缶の製造、研究開発及び販売
主力製品	アルミ缶胴、アルミボトル (缶胴) アルミ缶蓋、キャップ (アルミボトル用)



団地位置図&団地内企業紹介

「館林工業団地」企業一覧

【あ行】
新井工業 (株) 館林工場
(株) アルファ 群馬工場
(株) 五十矢
(株) 五十矢製作所
(有) 伊藤工業
岩崎金属興業 (株) 館林工場
(株) 内山製作所
(株) エコTRY 群馬工場
(株) 大杉
大杉運輸倉庫 (株)
オーラ産業 (株) 館林工場
【か行】
(株) カナモト 館林営業所
川島工業 (株) 近藤工場
共栄樹脂 (株)
共栄精機 (株)
クリタ食品 (株)
コマツレンタル (株) 館林店
【さ行】
三明化成 (株) 北関東営業所
三明ケミカル (株) 北関東営業所
JX金属プレジジョンテクノロジー (株) 館林工場
(株) ジャパンクリーン 館林中間処理施設
(株) 秀和 本社・群馬工場
上州生コン (株) 館林工場
(株) シーエスラボ
(株) スリーアール
【た行】
館林アスコン (株)
(株) 館林うどん 近藤工場
(株) Tモールド
東亜薬品工業 (株) 館林工場
(株) 精商 ガイアクリンセンター
【な行】
ニプロ医工 (株) 近藤工場
【は行】
藤村ヒューム管 (株) 東京事業本部館林工場
(株) プリント芸 館林工場
【ま行】
三笠産業 (株) 館林工場
【や行】
山下金属化工 (株)
【わ行】
(株) 渡辺製作所 第二工場
(株) ワークジョイ
ワールドオートプレート (株) 館林工場

「館林金属工業団地」企業一覧

【あ行】
(株) 内山製作所 本社・本社工場
(株) 岡田製作所
【さ行】
(有) 三耀鍍金工業所
(株) 誠和製作所
【た行】
(有) タテノ精工
館林金属工業団地協同組合
(株) 精商 館林資源化センター
【な行】
日本結晶光学 (株) テックス工場
【は行】
(株) プリテック
【わ行】
(株) 渡辺製作所

「北部工業団地」企業一覧

【あ行】
アサヒロジ (株) 関東支社群馬支店
【か行】
カルピス (株) 群馬工場 (2018.1.1よりアサヒ飲料群馬工場)
【た行】
館林倉庫 (株) 早川田事業所
ダノンジャパン (株) 館林工場
(株) DNP エス・ピー・テック
【ま行】
モーリン化学工業 (株) 群馬工場
【や行】
ヤタガワオートサービス (株)
ヤタガワ物流サービス (株)
【ら行】
両毛通商 (株)
両毛丸善 (株)

「鞍掛第一工業団地」企業一覧

【た行】
トーンサービス (株) 館林営業所
(株) トーモク 館林工場
【や行】
ユニバーサル製缶 (株) 群馬工場

「野辺流通団地」企業一覧

【あ行】
(株) 大崎 館林営業所
【は行】
ブリヂストン物流 (株) 館林倉庫

「館林東部工業団地」企業一覧

【あ行】
曙ブレーキ工業 (株) 館林製造所
【さ行】
正田醤油 (株) 館林東工場
【た行】
D I C (株) 館林工場
D I C プラスチック (株) 館林工場
【は行】
(株) 長谷川萬治商店 館林事業所

「野辺第二流通団地」企業一覧

【か行】
川崎運送 (株) 北関東物流センター
【さ行】
(株) 新和 北関東物流センター
住商特殊鋼 (株) 北関東支店
【た行】
タイガー魔法瓶 (株) 東日本物流センター
【わ行】
ワコール流通 (株) 館林流通センター

「北部第二工業団地」企業一覧

【た行】
東海カレンダー (株) 館林工場
【は行】
ブルドックソース (株) 館林工場

「谷田川北部産業団地」企業一覧

【か行】
(株) ケー・ピー・ケー
(株) 小林機械
【た行】
東洋水産 (株) 関東工場・関東物流センター

「渡瀬南部産業団地」企業一覧

【あ行】
アサヒ飲料 (株) 群馬配送センター

「北部第三工業団地」企業一覧

【た行】
ダノンジャパン (株)
手島精管 (株)
【は行】
(株) 日立物流 館林物流センター
(株) プラスチックホンダ

館林市の主な優遇措置

緑地面積率等の緩和

工場立地法地域準則条例

制度の概要	工場敷地内に確保することが必要となる緑地等の割合を緩和しています。								
特例処置の内容	工場立地法		→ 緩和後	工業・工業専用地域及び指定地域(谷田川北部産業団地)		準工業地域		左記以外	
	緑地面積率	20%以上		緑地面積率	5%以上	緑地面積率	10%以上	緑地面積率	20%以上
	環境施設面積率	25%以上		環境施設面積率	10%以上	環境施設面積率	15%以上	環境施設面積率	25%以上

雇用奨励金制度

U I ターン支援奨励金

制度の概要	U I ターンして市内企業に就職したかた及び事業者に対して奨励金を支給します。	
対象労働者	市内に住民登録があり正規雇用として6か月以上継続して雇用されている新規学卒者及び卒業後3年以内の新卒扱いの者。	
対象事業者	上記対象労働者を雇用した事業者。	
支給額	市外から市内に転入した場合	労働者 15万円、事業者 5万円
	市内に住民登録がある場合	労働者 5万円、事業者 5万円

正規雇用促進奨励金

制度の概要	非正規労働者として働く市民を正規雇用へ雇用転換させた市内事業者に対して奨励金を支給します。	
対象事業者	非正規雇用から正規雇用へ転換後6か月以上継続雇用され、かつ、賃金が月給で5%以上上昇している者を雇用している事業者。 ※女性の場合は加算支給あり	
支給額	対象労働者1人につき10万円支給 ※女性の場合は10万円加算支給	

工業振興助成制度

下記のような助成制度の他、様々な支援制度を取り揃えております。

展示会活用支援助成金	市内で製造業を営む中小企業者(製造業に進出しようとする者を含む)が、自社製品の販路拡大を図る各種展示会に出展する際の経費の一部に助成金を交付
産学官研究サポート助成金	市内で製造業を営む中小企業者(製造業に進出しようとする者を含む)が、大学等や公的研究機関と共同して実施する新製品の研究開発に係る経費の一部に助成金を交付

雇用施策

館林市では若年層の定住化という目標を掲げ、下記のような雇用施策を実施しています。

- ① LINE@を使った市内企業の情報や就労支援イベント情報の配信
- ② 市内中学校、高校での市内企業のかたを講師とする社会人講座の実施
- ③ 高校生のインターンシップ事業
- ④ 高校生、大学生を対象とした就労イベントの実施(館林の企業を知るバスツアー・地元企業ガイダンス)
- ⑤ U I ターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金等を通じた就労支援
- ⑥ 勤労青少年ホームでの就労支援講座及び職業紹介の実施
- ⑦ 企業訪問(随時)による、市内企業の現状把握と情報共有

群馬県の企業立地の優遇措置

その他様々な支援制度がございます。
詳細については群馬県産業経済部産業政策課企業誘致推進室までお問い合わせください。

企業誘致推進補助金	設備投資に係る不動産取得税相当額を最大2億円まで補助
本社機能等移転・拡充支援	本社機能移転・拡充を行う企業に税制上の支援
企業立地促進資金	県内に土地を取得し3年以内に工場等建設した場合に利用できる制度融資

企業立地のご相談
お問合せ

館林市 館林市経済部産業政策課企業誘致係

〒374-8501 館林市城町1-1 / TEL: 0276-72-4111 / FAX: 0276-72-3297

☎: sangyo@city.tatebayashi.gunma.jp (館林市ホームページ) <http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

群馬県

群馬県産業経済部産業政策課企業誘致推進室

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 12階フロア / TEL: 027-226-3326 / FAX: 027-223-5470 / ☎: kdanchika@pref.gunma.lg.jp